



2022年5月27日1205号



幼稚園 048(794)3104

HPアドレス  
http://wakuwaku-dokidoki.com

&lt;添付手紙&gt;

・個人面談のご案内・ランチメニュー&amp;参観表



## 旬をいただく

ろりほっぷ名物 キュウリ屋さんが、今年度初めてお目見えしました。新入園のお子さんは初めての体験でしたが、70本のキュウリがあっという間にみんなのお腹に収りました。それをつけて食べるというアナログな食べ方もろりほっぷ流。おいしくて1本丸ごと食べたーいという声も。

それならばと、年長組は木曜日、バスで20分ほどでの野菜直売所「新しい村」に行ってきました。グループ毎に旬の野菜を品定め。「キュウリは1人1本必ずね。あとは自由に選んでね」のルールでそれぞれにチョイス。園に戻って、丸ごとキュウリ、じゃがバター、キャベツの千切りと旬を味わいました。

時はまさに二十四節気「小満」。あらゆる生命が満ち満ちいく季節です。旬の野菜や果物から生命のパワーをたくさんいただきたいものですね。



## ○想像を起きて… (5歳児保護者)

汚れるだらうな想像をだいぶ起えてきたのはさすがろりほっぷだと嬉しく思いました。

先生たちのおかげで同じ田植えという経験でも思いっきり楽しめたと思います。我が子が先陣をきって泥を投げ始めたのは衝撃でしたが…笑。

## ○農家さんに感謝 (5歳児保護者)

金曜日、帰ってきた娘にゆっくり田植えの感想を聞いてみました。砂場の泥遊びとはまた違った感触に「ちょっと水がぬるくてヌルヌルして、気持ちいいような、気持ち悪いような…でも、楽しかった!!」とのことでした。田植え後の泥遊びでは(ほとんどのお子さんが全身茶色になるほど楽しんでいて、こんなに思いきり自然を感じられるなんて贅沢だなあ~!と幼稚園と農家さんに感謝です。

田んぼに入る経験もなかなか出来ませんが、大人になってからこんなに泥を投げ合って楽しむこともなかなか出来ないので私にとっても贅沢な時間でした。容赦なく背中を狙って泥を投げてくるお子さんもいて、想像以上に泥だらけになりましたが…笑。お手伝いに参加できて良かったです。

お子さんたちが着替え終わった後のブルーシートの上には忘れ物がポツポツ…「きっと子どもが自分で気づくから少し待っていて」と園長先生。その言葉通り、ほとんどの忘れ物を自分で取りに戻っていましたね。

家ではついあれやこれやと声をかけてしまいますが子ども自身の力を信じて待つこと、大切ですね。

## ○泥を全身で感じじる

(5歳児保護者)

田植えでは、泥の中を泳ぐという普段なかなかできない体験をさせていただき感謝です。1人ではたまらてしまいそうな事も皆と一緒にやってきてしまうので、大勢のパワーはすごいですね。

幼い頃に、田植えの大変さや泥を全身で感じる気持ち良さを体験できる子ども達は減っていると思います。親である私たちも自然と触れ合う機会を増やしていかなければと思います。

## ○タラタラママ

(4歳児保護者)

園だよりの母親について…。私の母はよくアイロンをかけている人でした。全く几帳面な人ではないのですがアイロン掛けはきっちりとやっていた記憶があります。母は看護師で忙しくしていたはずなのに、面倒なアイロンをよくやっていたな~と自分が親になり思ひます。母の影響か、私はアイロンが苦手です(笑)。週末に給食着のアイロン掛け、ランチマットのアイロン掛け…ちょびり憂鬱です。

中3の長女がまだ小さい時、突然「私、結婚しないし、子どもも産まない!」と言いだし、「どうして?」と聞くと、「だって、ママ忙しそうなんだもん。」と言われました。そこから、私は子どもの前では最低限の家事しかしません。子どもの前ではタラタラママです(笑)。

長女はその発言を覚えているのかいないのか、今では、「私はささと結婚して子どもを産んで、ママに子どもを預けてバリバリ働く!!」と言っています。

好きに生きてくれへと思いながら、子どもたちには私はどんな風に思われ、感じられているのだろうと「こまへに思います。

## 6月の行事予定

5/30(月) 連絡係顔合わせ

10:30~

31(火) ピーカーブー

ラッコクラブ

9日(木) 年長 ハ幡山登山

14日(火) ピーカーブー

ラッコクラブ

16日(木) おかし作り

6日(月) 年長 春日部お話の会

7日(火) ピーカーブー

ラッコクラブ

17日(金) 誕生日会

20(月)~24(金) 個人面談

21(火) ピーカーブー

ラッコクラブ

23(木) 流しこうめん

27(月) プール開き

28(火) ピーカーブー

ラッコクラブ

